

雪のキリマンジャロ登頂報告

山の会カランクルン 林 孝治

今年のゴールデンウィークにアフリカの最高峰キリマンジャロ(5895m)に行っていました。参加者はカランクルン3名(うち、2名が聴覚障害者)、YMCC2名、吹田労山1名の合計6名(男性3名、女性3名)です。うち、1名(女性)は昨年けんどうしょうらいの2月にトライしましたが、残念ながら登頂できなかったので、捲土重来を期しての参加です。

5月連休の頃は、現地は雨期であり条件は良くないとは聞いていましたが、この時期にしか休めない人たちに合わせて計画しました。ルートは一番ポピュラーなマランゲルートです。

大阪からオランダ/アムステルダムで一泊し、翌日キリマンジャロ国際空港に到着。

4/30、マランゲゲート(1879m)から1泊目のマンダラハット(2730m、ハット=山小屋)までは、熱帯雨林なので雨期でなくとも、雨が降ることが多く、他のシーズンとあまり変りはありません。

5/1、マンダラハットからホロンボハットまでは他のシーズンでは雲を突き抜け、晴れることが多いのですが、今回は雲の中です。マウエンジ峰(5270m)やキリマンジャロは見えません。



キリマンジャロ全員登頂(マウエンジ峰をバックに)

5/2、最終のキボハット(4700m)までも、ほとんど曇っていて、時折、マウエンジ峰やキリマンジャロが姿を見せました。

そこから見えるキリマンジャロは真っ白で、こんな姿は初めて見ました。

5/3、頂上アタックは深夜0時にスタート。山は真っ白ですが、踏み跡は地面が露出していて、無雪期と変わりません。登るにつれて、雪の上を登りますが、アイゼンを必要とするほどでもありません。

頂上直下は岩場で傾斜が強くなり、積雪量も多く慎重に登ります。

高度が高くなり酸素は平地の二分の一。そのしんどさもあって、遅々たるスピードですが、頂上は確実に近づいています。背後から真っ赤な太陽が登り、午前7時に頂上着。

お一人、遅れましたが頑張って15分後に到着。頂上の一つのギルマンズポイント(5681m)に全員登頂できました。最高峰のウフルピークへは、積雪量が多く、滑落の危険も増してきますので、断念しました。

下りは急傾斜が目に入り、緊張しましたが、全員無事にキボハットに到着。翌日は、ホロンボハットまで下山し、さらにその翌日、チェックアウトして、キリマンジャロ登山は終わりました。

そのあとタランギレ国立公園とンゴロンゴ保全地域でサファリを楽しんで、帰国しました。